

2023年3月10日

報道各位

株式会社地域みらいグループ
住友林業株式会社

元禄創業の「佐嘉酒造」 酒蔵刷新で地域活性化へ

株式会社地域みらいグループ(社長:脇山章太、本社:福岡市中央区)と住友林業株式会社(社長:光吉敏郎、本社:東京都千代田区)は、「佐嘉酒造」の酒蔵を全面リニューアルします。「佐嘉酒造」は2020年に地域みらいグループ入りした元禄創業の酒蔵です。総合設計監修・施工は同じく元禄時代に源流を持つ住友林業が担当し、地域みらいグループの理念を実現する地域活性化の拠点に刷新します。4月に着工、2025年秋の完成を予定しています。創業300年以上の歴史を持つ企業同士の未来に向けたコラボレーションです。

対象となるのは11,209m²(3,390坪)の敷地に建つ木造4棟・鉄骨造3棟で延床面積は3,610m²に及びます。木造の事務所は天井高約5mを実現。木質感あふれる執務空間となります。滞在時間の長い事務所や酒を長時間貯蔵する蔵など、木の断熱性能や調湿機能が活きるエリアを木造とします。自然を身近に感じる見学ルートや休憩所などを設け来訪者に心地よい空間を提供。地域の方々の交流拠点としても愛される酒蔵を目指していきます。既存の酒蔵を稼働しながら一期工事(事務所・冷蔵倉庫)と二期工事(工場他4棟)を実施する計画です。国産材も活用し地産地消にも貢献します。

■「佐嘉酒造」とは

「佐嘉酒造」は創業1688年(元禄元年)の歴史をもつ佐賀最古の酒蔵です。清酒「窓乃梅」は佐賀の地酒として、有明海で働く漁業関係者や佐賀・筑後平野で農業を営む方々、古くは炭鉱など多くの産業に従事する地元の方々に親しまれてきました。「佐嘉」は高級な地酒として昨年から発売しています。世界に向けた日本酒文化の発信と地域の一層の活性化を目指しています。

【ご参考】佐嘉酒造について <https://sagashuzo.co.jp/>



純米酒「佐嘉」

■歴史を紡ぐ酒蔵に

九州産の材料にこだわった佐嘉酒造の清酒「窓乃梅」は、国際線のファーストクラスや九州を運行する豪華列車で提供されるなど、県内外で高い評価と厚い信頼を獲得してきました。

総合設計監修・施工を担当する住友林業は1691年(元禄4年)に開坑した別子銅山(愛媛県新居浜市)の「銅山備林^{※1}」経営を源流に持ち、今年で創業332年を迎えます。森林経営を原点に木材流通・製造、戸建住宅や中大規模木造建築の請負、不動産開発、木質バイオマス発電な

ど「木」を軸に事業を展開しています。

300 有余年にわたる佐嘉酒造の「日本酒文化」と住友林業の「木」に関する知見を融合し、「次の世代」、「次の 300 年」に向けて新たな歴史を紡いでいきます。

※1 銅の製錬に欠かせない薪炭用の木材や坑道の坑木、採掘・製錬に従事した人々の住居のために建築用木材などを調達すること

■完成イメージパース



地域の方々の新しい交流拠点に



見学用のステージを設ける木造の蔵



四季を感じる植栽計画

<建築概要>

所在地	佐賀県佐賀市久保田町大字新田字福富籠 1640-1 他 4 筆
敷地面積	11,209 m ² (3,390 坪)
延床面積	3,610 m ² (1,092 坪)
総合設計監修・施工	住友林業株式会社
工期	2023 年 4 月着工 2025 年 9 月竣工 予定

■今後の取り組み

地域みらいグループは「地域のために 未来のために」をスローガンに掲げ、事業を通じて人材を育て、技術を継承することで地域の未来を創造していきます。

住友林業グループは教育施設や商業施設など非住宅建築分野での木造・木質化を推進します。住友林業のバリューチェーン「ウッドサイクル」を回すことで森林の CO2 吸収量を増やし、木材の活用で炭素を長く固定し続けます。木質部材の調達や製造、設計・施工にいたるまで、木の魅力を最大限に活かす建築物を通して付加価値の高い商品、サービスを提供し脱炭素社会の実現に貢献します。

《本リリースに関するお問い合わせ先》

株式会社地域みらいグループ 人財開発部 広報担当
中村・徳丸
TEL 092-525-7878

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部
鈴木・北浜
TEL 03-3214-2270 / Eメール ccom@sfc.co.jp